

## 第4回 災害時非常用電源設備の強化等に係る危険物施設の安全対策のあり方に関する検討会

### 議事の記録

#### 1 開催日時

平成29年3月21日（火） 14時00分から16時00分まで

#### 2 開催場所

東京都千代田区霞が関三丁目2番1号  
金融庁 9階 共用会議室1

#### 3 出席者

(1) 委員（五十音順、敬称略）

石井 弘一、岩崎 隆浩、大谷 英雄、菅野 浩一、小林 恭一、高橋 典之、田代 正則、  
田村 裕之、鶴田 俊、長江 照夫、中嶋 利隆、中山 大樹、西野 圭太、沼田 明、  
柳下 朋広、山口 克己

(2) オブザーバー

経済産業省 資源エネルギー庁 資源・燃料部 石油流通課 課長補佐 成瀬 輝男

#### 4 配布資料

資料4-1 災害時非常用電源設備に係る課題の整理及び検討の結果

資料4-2 東京オリンピック・パラリンピック競技大会における仮設発電施設等の課題の整理及び検討の結果【非公表】

参考資料4-1 第3回 災害時非常用電源設備の強化等に係る危険物施設の安全対策のあり方に関する検討会 議事の記録（案）

参考資料4-2 イギリスで発生したガスタービン発電設備の火災・爆発事故に係る国内での安全対策について

参考資料4-3 日英の法令比較

#### 5 議事

(1) 災害時非常用電源設備の強化等に係る課題の整理及び対策のとりまとめ

資料4-1、参考資料4-2により委員、事務局から説明が行われた。

質疑については以下のとおり。

【委員】ビル関係者を対象とした実態調査（平成28年8月実施）を踏まえて整理した課題の件数は、数件にとどまることとなった。しかし、今後はさらに大規模災害のリスク等が高まることも考えられることから、社会情勢等に注視しながら、必要に応じて再度検討を進めていただきたい。

また、資料4-1の公開・非公開については、どのような取扱いとなるか。

【事務局】当該資料は消防庁HPに掲載する予定であり、公開することとなる。

【委員】資料４－１（P24）図 11 は耐火構造の煙道を設置している例であるが、この場合の危険物施設の許可の範囲について伺いたい。

【事務局】危険物を取り扱う部分を範囲とするか、耐火構造の煙道を含めた部分を範囲とするかは、実態等を踏まえて今後整理していきたい。

(2) 東京オリンピック・パラリンピック競技大会における仮設発電施設及び仮設給油施設に係る課題の整理及び検討

資料４－２、参考資料４－３により事務局から説明が行われた。

質疑については以下のとおり。

【委員】資料４－２の公開・非公開については、どのような取扱いとなるか。

また、仮設発電施設の検討については今年度で終了し、仮設給油施設にあっては、来年度以降も継続して検討を進めていくこととなるか。

【事務局】仮設発電施設に関する検討は今年度で終了し、とりまとめ資料等の周知については、東京オリンピック・パラリンピック（以下「東京大会」という。）の会場を管轄する消防本部に対し実施したいと考えている。また、内容には非公開の情報が含まれる場合があるため、公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会（以下「東京オリパラ組織委員会」という。）と調整のうえ、周知する内容等を検討していきたい。

今後は、原則として設置主体である東京オリパラ組織委員会と仮設発電施設を管轄する消防本部との間で協議を進め、必要に応じて消防庁が助言をしていくこととなる。

【委員】資料４－２は冊子として製本し、関係者に対し配布されるか。

【事務局】今年度のとりまとめとして、資料４－２を作成したが、冊子として配布する予定はない。

今後は、仮設発電施設の部分については、当該資料を踏まえた指針を作成していく予定である。

また、東京大会の一部の会場では、具体的な計画が既に進められているものもあるため、現時点では資料４－２を参考に対応していただきたい。

【委員】当該資料は消防本部の組織内で共有していきたいと考えるが支障はないか。

【事務局】今後の早い段階で、東京オリパラ組織委員会と調整し共有できるようにしていきたい。

【委員】具体的な計画が進んでくると、詳細な課題が見えてくる部分もある。資料４－２（P32、P33）の防油堤や設備周囲の囲い等の対応例では、排水溝付近を避けること等の例が挙げられているが、道路上には排水溝が多く設置されているため、実現可能なものか疑問がある。

【事務局】対応例については、委員のご指摘のとおり、会場によっては適用が難しいものもあると思われる。

【委員】主にロンドン大会の実例を参考にまとめられているが、東京大会は都心部での開催となること、コンパクトに開催することが計画されていること、気温が高くなること、湾岸地域には共同溝やエネルギー施設等があること等、ロンドン大会とは条件が異なるため、ロンドン大会の安全対策をそのまま東京大会で実施すれば安全という訳ではない。

したがって、資料４－２の対応例を参考としつつ、具体的な安全対策については、周囲の状況等を勘案して個別に検討し、危険物事故の防止に努めなければならない。

【事務局】今後は、東京オリパラ組織委員会と調整を進めながら、本検討会で議論いただいたこと

を踏まえ、消防本部に対して必要に応じて助言をしていきたいと考える。

(3) その他

【事務局】今年度で災害時非常用電源設備に関する検討は終了となり、来年度以降、東京大会における仮設給油施設に関する検討を継続させていただく。

その他、委員委嘱や開催のご連絡等については別途ご連絡をさせていただく。

以上